



中部山岳国立公園

「燕岳（つばくろだけ）」

「中信署」松本市の北西に位置する安曇野市（合併前穂高町）の中房国有林には、「燕岳（二、七六三メートル）」があります。この燕岳の名前は、春の雪形がツバメに似ていることが由来とされています。

燕岳登山口へは、水力発電所のそばを通り、中房溪谷風景林のミズナラなどの天然林やカラマツ特別母樹林を過ぎてたどりつきます。登山口には、中房溪谷から引湯している日帰り温泉があり下山者の疲れを癒してくれます。

登山道は、北アルプス三大急登のひとつ、合戦尾根を越えていきます。一気に登ると大変ですが、コース途中には休憩用のベンチと売店もあり、危険な場所が比較的少ないことから、登山初心者の方や学校登山などに利用されています。

燕岳周辺は花崗岩独特の岩の景観が楽



コマクサ

しめます。また、ハイマツ帯の緑と白い山肌に生育しているコマクサのピンクも登山者を楽しませてくれています。付近には山小屋があり、山頂付近で過ごされる方や、縦走する登山をされる方に利用されています。

燕岳は大天井岳から槍ヶ岳へ縦走する表銀座コースのスタート地点でもあります。もしかすると、コースの途中で天然記念物のライチョウに出会えるかもしれません。

餓鬼岳や常念岳、槍ヶ岳などへの縦走登山や、山頂付近の、コマクサの群生地や高山植物、そびえる山々の景色を楽しませてはいかがでしょうか。

☆アクセス方法（燕岳登山口）

◎自家用車

豊科インターから国道一四七号を経て燕岳・中房方面へ。

お車は、登山者無料駐車場をご利用ください。

\* 県道中房線（通称）は、十二月上旬～四月下旬まで冬期間閉鎖です。

◎電車

JR大糸線「穂高駅」下車し、乗合いのタクシー・バスをご利用ください。



槍ヶ岳を後方にハイマツ帯に立つライチョウ



稜線からの燕岳